

報道関係者各位

平成 24 年 9 月 5 日

アバゴ・テクノロジー、プラスチック光ファイバ 多機能リンクの新製品を発表

送受信ロジックの集積で、統合度と付加価値を向上させた新製品を投入

アバゴ・テクノロジー株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：米山周）は、本日プラスチック光ファイバの多機能リンク製品(Versatile Link) シリーズに新製品を投入し、同製品群のラインアップを拡張したことを発表しました。プラスチック光ファイバの多機能リンクシリーズは、産業分野で用いられる通信システムや制御リンクなどに最適なソリューションとして数多くの採用実績を得ています。

アバゴのプラスチック光ファイバ（以下、POF）製品は、無限レベルの絶縁電圧耐性と、従来の銅ケーブルをはるかに上回る EMI（電磁妨害）耐性を実現しています。POF ケーブルを利用したソリューションでは、重量を銅ケーブルの 75%以下に抑えることが可能です。また、曲げに対する強度として銅ケーブルよりも 50%高い性能を得ることができる上、銅ケーブルを利用する場合と価格は同等です。

アバゴ・テクノロジーの産業用光ファイバ製品事業部マーケティング・ディレクターのバーンド・リュークは、「今回製品ラインアップを拡張した多機能リンクシリーズは、産業用途における堅牢な通信を実現する製品として、すでに事実上の業界標準となっています。また、今回発表する新製品は、動作性能や絶縁性能を犠牲にすることなく、統合の度合いがより高く、低コストシステムの設計を可能にするものです」とコメントしています。

産業分野で用いる堅牢な通信ネットワークの設計では、POF ケーブルを利用することにより、銅ケーブルを使用する場合と比べて重要なメリットを享受することができます。POF は、金属を使うことなく構成することが可能なため、通信リンクのノード間では無限のレベルの絶縁が実現されます。また、信号の伝送には光を使用するので、伝送ラインが電磁妨害の影響を受けたり、周辺に影響を及ぼす電磁波を自身が発生したりすることがありません。

加えて、銅ケーブルを使用する場合、多くのステップから成る加工処理を施す必要があります。例えば、複数の層から成る絶縁層の剥ぎ取り、より線のメッキ、はんだ付けのための電線の寄せ集め、シールド箔の終端といった処理を行わなければなりません。銅ケーブルは、これらの処理を行うために長時間に及ぶ組み立て作業が必要になり、人件費が増加するという問題を抱えています。さらに、組み立ての完了後に行う試験についても、銅ケーブルの場合には、導通、短絡、開放、破壊電圧の試験が必要になり、POF ケーブルの試験よりも複雑なものとなります。

アバゴの多機能リンク製品シリーズの新製品は、性能の向上と設計の容易化、更に低コストのソリューションを提供致します。この新製品は、内部集積により、デジタル・ロジック・インタフェース(TTL 入出力)に対応し、3.3Vと5Vの供給電圧のオプションも用意しています。

更に、多機能リンク製品シリーズは、POF ケーブルを斜めに接続できる傾斜パッケージを新規に開発しました。従来の製品は、POF ケーブルを水平もしくは垂直方向に接続致します。この新しい傾斜パッケージにより、水平、垂直、更に傾斜

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7
青葉台ヒルズ7F
www.avagotech.co.jp

方向と、3 種類の方向に POF ケーブルが接続可能になり、より柔軟に基板の配置を設計する事が可能になります。

| 製品名 | パッケージ | トランスミッタ | レシーバ | 電気信号出力 (標準/反転) | 供給 | リンク長 | 電源電圧 |
|------------|-------|--------------------------------|---|-------------------|------------------|------|----------------|
| | | 集積化された LED ドライバ (TTL 入力) | 集積化された PIN ダイオード/デジ タイザ (TTL 出力) | | | | |
| AFBR-1529Z | 水平 | なし (アナログのみ) | | 標準/反転 | 出荷中 | 50m | 最大 2.3V |
| AFBR-1624Z | 水平 | あり | | 標準 | 出荷中 | 50m | 3.3V または 5V |
| AFBR-2624Z | 水平 | | あり | | | | |
| AFBR-1629Z | 水平 | あり | | 反転 | 出荷中 | 50m | 3.3V または 5V |
| AFBR-2529Z | 水平 | | あり | | | | |
| AFBR-1644Z | 傾斜 | あり | | 標準 | 間もなく 供給 開始 | 50m | 3.3V または 5V |
| AFBR-2644Z | 傾斜 | | あり | | | | |

価格と供給について

水平パッケージ製品は、いずれもすでに出荷中です。また、傾斜パッケージを採用した製品 (AFBR-1644Z/AFBR-2644Z) は、第 1 四半期 (2012 年 11 月~2013 年 1 月) 中に出荷を開始します。価格については、アバゴ・テクノロジーの正規販売代理店までお問い合わせください。

製品画像



AFBR-x644Z

アバゴ・テクノロジー社

日本法人: アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤです。当社の主力製品は、アナログ、ミクスドシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、そして携帯電話/ワイヤレス・コミュニケーションの 3 つの主要マーケットに、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50 年前のヒューレット・パッカードに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト www.avagotech.co.jp をご覧ください。

Avago Technologies Japan, Ltd.
アバゴ・テクノロジー株式会社

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7
青葉台ヒルズ7F
www.avagotech.co.jp

AVAGO
TECHNOLOGIES

Avago, Avago Technologies、および A のロゴは、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先（報道関係者）：

アバゴ・テクノロジー株式会社

コーポレート・マーケティング&コミュニケーションズ

カルデラ久美子

TEL： 03-6407-2704

kumiko.caldeira@avagotech.com